

金ヶ崎周辺魅力向上デザイン計画

令和5年11月

金ヶ崎周辺魅力づくり協議会

(敦賀商工会議所、敦賀市、福井県)

趣旨

福井県にとって100年に一度のチャンスとなる令和6年3月16日の北陸新幹線福井・敦賀開業まで、残り4か月を切った。敦賀駅は北陸新幹線の当面の終着駅であり、嶺南地域の広域観光の玄関口となることから、開業効果を最大限に発揮できるよう、来訪者や住民にとって魅力あるまちづくりが必要である。

このため、敦賀商工会議所、敦賀市、福井県が連携し、金ヶ崎エリアおよび氣比神宮エリアを中心に、今後の魅力づくりのプランをとりまとめた「金ヶ崎周辺魅力向上デザイン計画」を策定する。

目的

金ヶ崎エリアの既存施設、金ヶ崎周辺施設整備基本計画等を踏まえ、来訪者や住民の満足度、快適性、滞在時間等を向上させることを目的とする。

現状と課題

福井県観光客入込数(推計)(福井県)によれば、敦賀市における観光客入込数(延べ人数)はコロナ禍で減少したものの、令和3年:217万8千人、令和4年:260万5千人と回復しており、北陸新幹線金沢・敦賀間開業により、さらなる観光客の増加が見込まれる。

その一方で、敦賀市の令和4年における日帰り客は206万3千人、宿泊客が54万2千人と、日帰り客が観光客全体の約80%を占めており、長く滞在して楽しめる賑わいや宿泊施設等の環境を整備する必要がある。

また、中京・関西方面からの観光客が140万8千人と全体の54%を占める一方、関東からの観光客は5万6千人と全体の2%に留まっており、新幹線敦賀開業を契機として、継続して関東圏の観光客に選ばれる魅力づくりが必要である。

※参照:令和4年福井県観光客入込数(推計)



金ヶ崎緑地(金ヶ崎エリア)



旧敦賀港線廃線敷(金ヶ崎エリア)



氣比神宮大鳥居・参道(氣比神宮エリア)

将来像

世界と未来に開く鉄道と港のまち

鉄道や港など敦賀の歴史が感じられ、来訪者が長く滞在して楽しめる賑わいあるまちを創生する。



金ヶ崎エリア



氣比神宮エリア

基本方針

玄関口‘敦賀駅’から広がるまちづくり

金ヶ崎エリア、氣比神宮エリアの魅力をもっと高めるとともに、敦賀駅を起点として各エリアを繋ぐことで、賑わいをまち全体に広げていく。

施策の方向性

I. 金ヶ崎エリア

1 魅力ある食や癒しを体感できるエリアをつくる

世界に誇れる建築およびランドスケープデザインを基に、敦賀の魅力ある食や宿泊などを体感できるエリアをつくる。

2 鉄道や港の歴史を活かしたまちをつくる

敦賀の歴史遺産を保存・活用し、敦賀の特色である鉄道や港を活かしたまちをつくる。

II. 氣比神宮エリア

1 氣比神宮の参道としての魅力をつくる

氣比神宮の参道らしさを感じられる景観整備を行い、沿道に立地する店舗の魅力を向上させることで、市民や観光客が歩いて楽しめる空間をつくる。

2 市民と観光客の交流の場をつくる

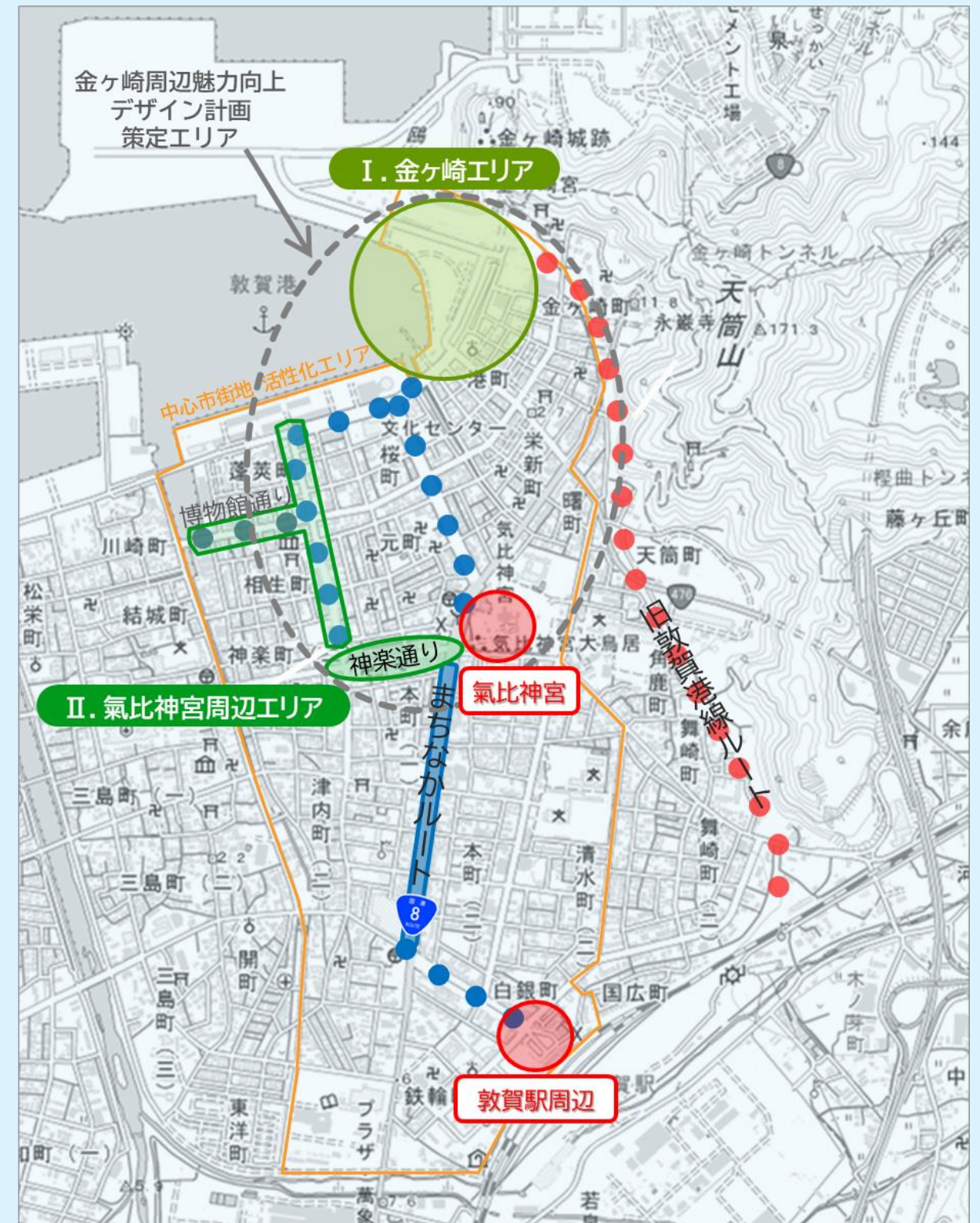
氣比神宮や近隣寺院、商店街の行事に、観光客が気軽に参加できる機会を提供するなど、市民と観光客が交流できる場をつくる。

3 市民の憩いの場をつくる

氣比神宮の参道としての機能だけでなく、住民生活に欠かせない商店街であることを大切にしながら、子供からお年寄りまで幅広い世代が憩う場をつくる。

全体イメージ

- 人道の港のエピソード、赤レンガ倉庫、ランプ小屋など歴史的資産が集積する金ヶ崎エリアに宿泊・飲食機能を整備
- 敦賀の文化と歴史の中心であり、年間約70万人が訪れる氣比神宮の魅力をさらに向上させるとともに、神楽商店街を参道として整備し、にぎわいを創出
- 旧敦賀港線についても、まちなか周遊を拡大させるための整備を併せて検討



地理院地図(国土地理院)を加工して掲載

1 魅力ある食や癒しを体感できるエリアをつくる

世界に誇れる建築およびランドスケープデザインを基に、敦賀の魅力ある食や宿泊などを体感できるエリアをつくる。

- ・世界的に有名な建築設計事務所による敦賀の魅力や港のロケーションを活かした全体的なデザイン計画
- ・スイーツ、ベーカリー、レストラン、マルシェ、ホテルなど、民間活力を導入した新たな賑わい拠点の整備
- ・金ヶ崎宮、赤レンガ倉庫、人道の港敦賀ムゼウムなど、金ヶ崎エリアに点在する観光地との一体感のある回遊空間の整備

2 鉄道や港の歴史を活かしたまちをつくる

敦賀の歴史遺産を保存・活用し、敦賀の特色である鉄道や港を活かしたまちをつくる。

- ・物資輸送の中継地として栄えた敦賀港の歴史の発信
- ・かつて敦賀駅にて使用され、現在は解体、保存されている転車台や、旧敦賀港駅の廃線敷を活用した鉄道公園(駐車場含む)の整備
- ・旧敦賀港線を活用したまちなか周遊の拡大



Ⅱ. 氣比神宮エリア

〈関係機関: 神楽1丁目商店街・敦賀観光協会・港都つるが株式会社・民間事業者・敦賀商工会議所・敦賀市・福井県等〉

1 氣比神宮の参道としての魅力をつくる

2 市民と観光客の交流の場をつくる

3 市民の憩いの場をつくる

施策の方向性

- ・氣比神宮と神楽町1丁目商店街が連携し、住民生活に欠かせない商店街であることを大切にしながら、観光やハレの場としても賑わう参道を目指す
- ・車中心の道路から、歩行者と自転車が共存し、大鳥居を目指して歩けるウォークアブルな参道を目指す
- ・地区の象徴の氣比神宮の魅力向上や隣接エリアへの広がりを目指す

具体的方策

○氣比神宮の参道としての魅力づくり

- ・氣比神宮参拝と合わせてまち歩きを楽しめる店舗の再整備
- ・氣比神宮のシンボルである大鳥居が眺望できる道路空間の整備
- ・氣比神宮の歴史的魅力を活かした土産・名物開発と店・体験づくり
- ・商店街を回遊するための駐車場整備 など

○市民と観光客の交流の場づくり

- ・氣比神宮催事に観光客や市外の住民が参加できる仕掛けづくり
- ・四季折々の雅楽など雰囲気合った音楽の発信、アトリエ・工房の設置
- ・朝市の開催など観光客が住民とともに楽しむ朝時間の提供
- ・駅、氣比神宮、商店街、観光地などを周遊するバスルート確保の検討 など

○市民の憩いの場づくり

- ・アートあふれる座り場の設置など、子供からお年寄りまでが自然に交流できる場づくり
- ・蹴鞠やスポーツなどを体験できる機会の提供
- ・敦賀の歴史・文化・産業を楽しめる語らいの広場を形成
- ・商店街と企業との連携によるマイボトル用の給水スポット設置
- ・氣比神宮隣の学校跡地利用、蓬萊地区の倉庫リノベーションの検討 など

□施設整備

【店舗など】

- ・空き店舗、空きビルなどのリノベーション
- ・集合商業施設の整備
- ・店舗兼住宅の一括分離経営
- ・既存の店舗内における観光客向けの販売・体験スペースの設置 など

【神楽通りなど公共空間】

- ・神楽通りの景観舗装、歩道の拡幅など参道らしさのある道路空間の整備
- ・市民と観光客がゆったりとくつろげる語らい広場の整備 など

□支援事業

- ・敦賀の歴史・文化を楽しく説明できる商店街歴史マニュアルの作成
- ・店舗等リノベーションに県・市が補助し金融機関が超低利融資する総合型の支援
- ・移住・事業承継・屋号承継など新たな住民や事業者を受け入れる仕組みづくり など



金ヶ崎周辺魅力向上デザイン計画の検討体制

金ヶ崎周辺魅力づくり協議会

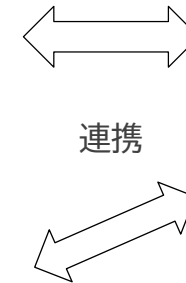
※各委員の氏名・所属は、第3回金ヶ崎周辺魅力づくり協議会(令和5年11月22日)時点のもの

座長 奥井 隆 敦賀商工会議所 会頭
 委員 奥井 純子 敦賀商工会議所 専務理事
 藤丸 伸和 福井県未来創造部長
 小林 弥生 福井県嶺南振興局長
 堤 宗和 敦賀市副市長
 小川 明 敦賀市都市整備部長

所掌事項 金ヶ崎エリアを中心に、氣比神宮エリアを含むまちづくりの実行プランとなるデザイン計画を策定
 事務局 敦賀市都市整備部都市政策課

金ヶ崎エリア:敦賀プロジェクト会議

構成員 民間事業者、福井県、敦賀市
 検討事項
 [・複合施設の配置計画
 ・事業プラン 等]



新幹線敦賀開業まちづくり推進会議

会長 奥井 隆 敦賀商工会議所 会頭
 所掌事務

[・北陸新幹線敦賀開業に向けた行動計画の進捗管理
 ・敦賀開業に向けた機運醸成、プロモーションの企画・実施
 ・開業関連イベントの企画・実施
 ・その他、開業の効果につながる事業に関すること 等]
 事務局 敦賀市観光部新幹線誘客課

氣比神宮エリア:氣比神宮周辺魅力アップWG

※各構成員の氏名・所属は、第4回氣比神宮周辺魅力アップWG(令和5年3月3日)時点のもの

座長 伊藤 敬一 敦賀商工会議所 常務理事
 構成員 桑名 伸次 神楽町1丁目 区長
 谷口 正宏 神楽町1丁目商店街振興組合 理事長
 中道 尚子 神楽べっぴん会 会長
 桑原 宏明 氣比神宮 宮司
 池田 裕太郎 (特非)THAP 理事長
 伊藤 敬一 敦賀商工会議所 常務理事
 若杉 実 港都つるが株式会社 常務取締役

阿部 俊二 敦賀市タウンマネージャー
 堤 宗和 福井県地域戦略部 交通まちづくり課長
 荒木 一男 福井県産業労働部 産業政策課長
 有乗 正志 敦賀市都市整備部 政策幹
 酒谷 昌宏 敦賀市産業経済部 商工貿易振興課長
 小淵 孝暁 敦賀市観光部 新幹線誘客課長
 石丸 泰男 敦賀市建設部 道路河川課長

検討事項
 [・神楽商店街の空き店舗を解消し、魅力的な店舗の誘致方策
 ・既存店舗の改修支援
 ・神楽通りの空間再整備 等]